

5年生

「飯舘村の農業紹介」をテーマに活動している5年生は、当初、ジャガイモ品種「イータタベイク」と復興牧場「フェリスラテ」の牛乳を使ったバターによる「じゃがバター」づくりを計画しましたが、日程の調整が難しく、実現することができなかったそうです。

そこから再度調査をして、飯舘村でホーリーバジルを生産し商品開発を行っている株式会社サガデザインシーズに注目。同社でインタビュー取材を行いました。そこでホーリーバジルの香りに可能性を感じた5年生は、栽培を担う「いいたて結い農園」を訪問し、ホーリーバジルの選別やエゴマの収穫を体験。力を合わせて農業に取り組む農園の皆さんの思いにも触れました。5年生はさらに、自分達でもホーリーバジルを育て、サシェ(香り袋)を作製。作品をいいたてつ子発表会「赤蜻祭」で展示しました。

5年生は、活動を通して村の農業がまだまだ復興の途中であることに驚き、自分達が「農業おこし協力隊」になろうという目標を立てました。また、今年度の活動をまとめたホームページを制作しました。※右のQR



いいたてつ子発表会「赤蜻祭」で展示したサシェ。

6年生

山津見神社を訪れオオカミ天井絵を見学した6年生は、その素晴らしさを体感し、「身近なことでも知らないことがある。それを知らせていこう」と考えました。神社や伝統文化を調べることから始まり、「もっとよい村にしよう」と受け継いできた人々の思いにも触れました。

いいたて希望の里学園の前期課程の児童が取り組む「元気太鼓」は、「はなつか太鼓」のアレンジで、「はなつか太鼓」のメンバーが練習に協力しています。6年生は、活動を通して、「私達も太鼓の演奏で多くの人に元気や勇気を与え、伝統をつなごう」と意識を高め、いいたてつ子発表会「赤蜻祭」での演奏に臨みました。

また、村の歴史や伝統文化、特産品などを題材に、プログラミングソフトを使って「改訂版!飯舘検定」を作成しました。前年度の6年生が作成した検定を参考にした、オリジナルの新作です。正解しても不正解でも解説が出るよう工夫をした他、イタネちゃんやオリジナルキャラクターをデザインに加えるなど、親しみやすさ、分かりやすさにもこだわりました。

これからも村のためにできることを考え続けていきたいと思います!



素晴らしい活動内容と発表に、講評では惜しみない賛辞と感謝が伝えられました。子ども達が「村の情報発信に加えてほしい」と話すと、杉岡村長が「ぜひ一緒にやらせてください」と笑顔で応えていました。



第2部 『いいたて学』学習成果の発表

第2部では、5年生と6年生がそれぞれ『いいたて学』の活動について、いきいきと発表しました。

熱い思いを込めて『いいたて学』

タブレット端末やモニターを活用して発表!

第1部 一般質問の続き

5年生議員



(質問) 私は福島駅周辺に遊びに行くときなどにバスを利用します。バスは子どもやお年寄りなど車がない人にとってとても便利です。飯舘村にも、バス停がありますが、数が少なく、バスの本数もあまりありません。バスの本数やバス停を増やしたり、村の中を回るバスをつくったりすれば、村の人達にとって、役に立つのではないのでしょうか?

(住民課長の答弁) 路線バスの停留所は17か所あり、福島市と南相馬市を1日6往復するバスが運行されています。以前運行していたコミュニティバスはありませんが、村内施設や村外の買い物に利用できるワゴン車を運行していて、予約時間に自宅から乗れるようにするなど少しでも便利になるよう工夫しています。



5年生議員



(質問) 社会科の授業で、防災について学習しました。ハザードマップが生活に大切なことが分かりました。しかし、漢字が難しく子どもには読めません。そこで、子どもも命を守れるように、ハザードマップにふりがなをつけてはどうですか?

(総務課長の答弁) 村の広報紙などは、小学生が読める漢字を使用するよう努めているところですが、村の防災ハザードマップを確認したところ、確かに、大人向けに作られてきたため読みにくい漢字がありました。今後は分かりやすい表記に努めてまいります。

5年生議員



(質問) 飯舘村にあるセブンイレブンは、20時までとなっています。私は村に住んでいますが、夜、セブンイレブンに行きたい時にしまっていることがあるため、川俣や原町などに出かけています。道の駅でもあり、飯舘村を通る人で夜に買い物をしたい人も多いと思うので、セブンイレブンの営業時間を長くしてはどうでしょうか?

(村づくり推進課長の答弁) 営業時間が長いと便利ですが、お店側からすると赤字にならないように営業する必要があり、お客さんが少なくなってしまう時間にはお店を閉めることにしているのだと思います。村としてはこれからも、住んだり働いたりする人が増え、お店を利用する人が増えるような努力をしていきたいと思っています。



5年生議員



(質問) 社会科の授業で、雪が多く降る地域では、道路での事故を少なくする対策があるそうです。飯舘村も多くの雪が短時間でも積もり、日陰になる道路に雪が残っているのを見かけます。事故を起こさない対策で、雪がとけやすい道路に変えたり、除雪を素早くしたりすることはできるのですか?

(建設課長の答弁) 村内の除雪は9社に依頼をして、15cm積雪で地域間を結ぶ重要道路を、30cm積雪で生活道路を追加して除雪をしています。また、雪の状況や見通しを確認しながら進めています。道の駅には地中熱融雪ヒートパイプを歩道の一部に設置していますので、ぜひ一度見学してみてください。

子ども達は、飯舘村のこと、自分達の暮らしのことを真剣に見つめ直して課題をまとめ、それに対する自分の意見やアイデアを持って一般質問に臨んでいました。堂々と意見をやりとりする様子が、とても頼もしく感じられました。